

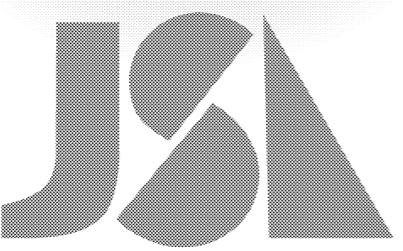
# 日本規格協会は、総合標準化機関です。

2014 IEC 東京大会 実行委員会の事務局を担当しています。

## 規格の開発

### 国際標準化の支援

国際標準化に関する各種情報の提供、研修・コンサルティング、国際・各國標準化機関との交流、発展途上国への協力などを通じて、我が国における国際標準化の推進をサポートしています。



### 適合性評価の推進

1994年に審査登録機関として我が国初の認定を受けた品質マネジメントシステムをはじめとし、環境、情報、食品安全等のマネジメントシステム審査登録を通じて企業経営を支援しています。また、JABの認定を受け、我が国で唯一の品質及び情報セキュリティマネジメントシステム審査員の評価登録を行っています。

一般財団法人  
日本規格協会

### 品質管理検定(QC検定)

日本品質管理学会の認定を受け、2005年よりQC検定を実施しています。QC検定は、産業界を支えるインフラの制度として、品質改善・管理の基礎となる品質管理知識の「ものさし」を提供しています。

| 様々な事業により経済社会の発展と国民生活の質の向上を目指しています。標準化に関するお問合せはこちらへ。

〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル  
Tel:03-4231-8503 http://www.jsa.or.jp

## JIS 規格等普及

JISの発行・販売をはじめとし、ISOやIEC等の国際規格、各種海外規格の販売を行っています。JSAは、ISO及びIECが公式に認めた我が国唯一の提供機関です。また、規格の英・邦訳版や解説本、月刊誌や標準試料などの出版・販売もしています。

## 人材育成

1949年に我が国初の品質管理講習会を開催して以来、管理技術、規格、標準化などに関する各種セミナーを開催しています。また、「標準化と品質管理全国大会」と品質月間行事を毎年開催し、「標準化」と「品質管理」を広く普及・啓発するための活動を行っています。

総合標準化相談室  
po@jsa.or.jp

JSA 検索

2014年からIEC会長に就いたパナノニク野村淳二氏が提唱しているのが「システム・アプローチ」だ。従来の規格開発は太陽光発電や燃料電池など製品単品の仕様や試験方法を主に对象してきた。産業界を中心とした今まさにスマートグリッドやスマートシティ（次世代環境都市など）社会インフラシステムの輸出が議論されていることもあって、装置や部品などを組み合わせたシステムとして浮上している。

特に環境  
安全 健康

分野においてシステム・アプローチが強く求められる。なぜなら使用者視点で考えれば、構成部品の規格はそれほど大きな問題ではなく、使い勝手を左右するシステムとしての性能などが最も重要な点だ。だから、また、インフラシステムも輸出は参加するフレームが多い。受け入れる元政府以外に、メーカーや金融・保険機関、施設管理者、運用会社、保守業者による事業参加の判断は不可欠だ。IECにおいて現在進

## 国際標準、スマート分野に焦点

11月4日から15日まで東京・丸の内の東京国際フォーラムをメイン会場に国際電気標準会議（IEC）東京大会が開かれる。世界百数十カ国・地域から関係者が来日し、国内を含めて1500人以上の参加を見込む。従来はなかった大会コンセプトを「Integretion toward a Smarter World」Co-existence and Sustainable World」に設定。近年力を入れているスマートコロード（次世代電力網）ないスマート分野に焦点を当てたメッセージだ。日本の得意分野もあり、活躍の場も広がりそうだ。

## 世界百数十カ国・地域から参加

11月4日—15日

間も長いため、産業界の動きと乖離してしまいがちだった。そこで、産業界の声をより聞くようにして、産業界と歩調を合

わせ、時には先回りして

国際規格を整備する姿勢

にかかる

い。にもかかわらず、標準化が同時進行していることは、1906年設立のIECの歴史上で画期的なことだ。

IECは日本で開催される

ことだ。

IECは技術開発が完全に終つておらず、まだ実証試験段階のものも多

い。

IECは技術開発が完全に終つておらず、まだ実証試験段階のものも多

い。